

NO!リニア

No. 26

2010年 7月14日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

シンポジウム・リニア中央新幹線は必要か？シリーズ⑥

水の枯渇は実験線ですすでに発生！ 推進派が台頭し、リニアの問題は隠されたまま

山梨県笛吹市市議会議員・野沢今朝幸氏

山梨県が加盟する期成同盟は、「リニアは、もう夢じゃない。リニアのファンになって下さい」と市民を洗脳しようとする情報を流しています。すでに15,000人のファンがいるといいます。

リニアは実現するのだという意識付けがされています。子供の作文の投稿の下に同盟会の宣伝を入れたりするので、子供の親はそれに引っ張られるという傾向もあります。情報が一方的に流されるという現状は、検証がされなければなりません。

すでに水源の枯渇が起きているのです。私の住んでいる場所で昨日、開通式がありましたが、掘っている場所からとんでもない離れた場所で水が涸れたりしています。水が出てきたらそれをうまく活用するような動きをしています。「水がでてきてありがたい」などという方向にされたりするのです。

地元では、リニアの危険性や将来の財政負担についてなどの危惧があっても、反対運動に結びつかないのです。審議会などでリニアには問題があるとならなければ、「お上の言うことだから」ということで、地元では疑問の声を出さないということなのです。今、飯田市では、リニアの形の貯金箱などが配られています。

※シンポジウム・リニア中央新幹線は必要か？シリーズは本号で終了です。

